

1. 演習名：現代社会論演習（イデオロギーとしての公正・安全・環境保護）

2. 担当者：中根光敏

3. 前期：木曜日 2 時限

4. 演習内容

社会現象（流行・事件・出来事・人間関係・文化・趣味・社会問題など）を事例として、現代社会の有り様を捉えようと試みるのが現代社会論です。演習では、履修者個々の関心を社会的な視角から捉えられるようになることを目指します。また、社会学という学問のイメージをつかまえるために、共通の文献を履修者全員で読み、レジュメを作成し、授業で報告し、議論していきます。

5. 評価方法

授業への参加度及び期末レポート

6. 履修上の注意事項

研究したいテーマがあること。指定された文献を読み、準備をして演習に望める人。
複数の演習を履修する人を歓迎します。

7. 担当教員の研究紹介：

最近、コーヒー・スタディーズの占める比重が半分くらい。また、不可解な事件や現象（流行／「過剰な」推し活／ストーカー／性の商品化／貧困／格差／非物質的労働など）を主として消費社会の変容として捉えるために、都市圏の盛り場・繁華街・商業地などでフィールド調査をするとともに、ソウル・シンガポール・インドネシアなど海外のフィールド調査を消費社会とコーヒー文化に関して実施している。

著書・共著

『グローバル化と生活世界の変容』『社会学する原動力』『珈琲飲み：「コーヒー文化」私論』『浮気な心に終わらない旅を—社会的思索への誘惑』『社会学者は2度ベルを鳴らす—閉塞する社会空間・溶解する自己』など

※以下の Web を参照

<https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=yminygmoeegy>

<https://shudo-sociology.ac/>

1. 演習名：産業社会学演習（グローバル化とポスト産業社会）

2. 担当者：中根光敏

3. 前期：火曜日 3 時限

4. 演習内容

現代社会を産業という視角から明らかにしていくのが、産業社会学です。本演習では、物質的生産を中心とした社会から非物質的生産を中心と社会への変化をポスト産業化として位置づけ、グローバル化と関連付けて現代社会を捉えていきます。中心的には、産業文化や労働の変容に焦点をあてて、履修者個々の関心を社会的な視角から捉えられるようになることを目指します。また、産業社会学という学問のイメージをつかまえるために、共通の文献を履修者全員で読み、レジュメを作成し、授業で報告し、議論していきます。

5. 評価方法

授業への参加度及び期末レポート

6. 履修上の注意事項

研究したいテーマがあること。指定された文献を読み、準備をして演習に望める人。複数の演習を履修する人を歓迎します。

7. 担当教員の研究紹介：

最近では、コーヒー・スタディーズの占める比重が半分くらい。また、不可解な事件や現象（流行／「過剰な」推し活／ストーカー／性の商品化／貧困／格差／非物質的労働など）を主として消費社会の変容として捉えるために、都市圏の盛り場・繁華街・商業地などでフィールド調査をするとともに、ソウル・シンガポール・インドネシアなど海外のフィールド調査を消費社会とコーヒー文化に関して実施している。

著書・共著

『グローバル化と生活世界の変容』『社会学する原動力』『珈琲飲み：「コーヒー文化」私論』『浮気な心に終わらない旅を—社会的思索への誘惑』『社会学者は2度ベルを鳴らす—閉塞する社会空間・溶解する自己』など

※以下の Web を参照

<https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ydiygmoeegy>

<https://shudo-sociology.ac/>

1. 演習名：現代社会論演習（グローバル化と生活世界の変容）

2. 担当者：中根光敏

3. 後期：木曜日 2 時限

4. 演習内容

社会現象（流行・事件・出来事・人間関係・文化・趣味・社会問題など）を事例として、現代社会の有り様を捉えようと試みるのが現代社会論です。演習では、履修者個々の関心を社会学的な視角から捉えられるようになることを目指します。また、社会学という学問のイメージをつかまえるために、共通の文献を履修者全員で読み、レジュメを作成し、授業で報告し、議論していきます。

5. 評価方法

授業への参加度及び期末レポート

6. 履修上の注意事項

研究したいテーマがあること。指定された文献を読み、準備をして演習に望める人。複数の演習を履修する人を歓迎します。

7. 担当教員の研究紹介：

最近、コーヒー・スタディーズの占める比重が半分くらい。また、不可解な事件や現象（流行／「過剰な」推し活／ストーカー／性の商品化／貧困／格差／非物質的労働など）を主として消費社会の変容として捉えるために、都市圏の盛り場・繁華街・商業地などでフィールド調査をするとともに、ソウル・シンガポール・インドネシアなど海外のフィールド調査を消費社会とコーヒー文化に関して実施している。

著書・共著

『グローバル化と生活世界の変容』『社会学する原動力』『珈琲飲み：「コーヒー文化」私論』『浮気な心に終わらない旅を—社会学的思索への誘惑』『社会学者は2度ベルを鳴らす—閉塞する社会空間・溶解する自己』など

※以下の Web を参照

<https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymiygmoeggy>

<https://shudo-sociology.ac/>

1. 演習名：消費社会論演習（ハビトゥス／身体化／ディスタンクシオン）

2. 担当者：中根光敏

3. 後期：火曜日 3 時限

4. 演習内容

現代社会を消費という視角から明らかにしていくのが、消費社会論です。本演習では、ハビトゥス（長い年月をかけて無意識に身につけていく言葉使いや考え方、センスや振る舞いなど）、身体化（潜在化した感情・情動が身体に顕在化して現れること）、ディスタンクシオン（卓越化・差別化）という三つのキーワードを軸として、消費という視角から現代社会を捉え、履修者個々の関心を社会学的な視角から捉えられるようになることを目指します。また、消費社会論という学問のイメージをつかまえるために、共通の文献を履修者全員で読み、レジュメを作成し、授業で報告し、議論していきます。

5. 評価方法

授業への参加度及び期末レポート

6. 履修上の注意事項

研究したいテーマがあること。指定された文献を読み、準備をして演習に望める人。複数の演習を履修する人を歓迎します。

7. 担当教員の研究紹介：

最近では、コーヒー・スタディーズの占める比重が半分くらい。また、不可解な事件や現象（流行／「過剰な」推し活／ストーカー／性の商品化／貧困／格差／非物質的労働など）を主として消費社会の変容として捉えるために、都市圏の盛り場・繁華街・商業地などでフィールド調査をするとともに、ソウル・シンガポール・インドネシアなど海外のフィールド調査を消費社会とコーヒー文化に関して実施している。

著書・共著

『グローバル化と生活世界の変容』『社会学する原動力』『珈琲飲み：「コーヒー文化」私論』『浮気な心に終わらない旅を—社会学的思索への誘惑』『社会学者は2度ベルを鳴らす—閉塞する社会空間・熔解する自己』など

※以下の Web を参照

<https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymiygmoeggy>

<https://shudo-sociology.ac/>